

KAKIHARA の安全衛生活動について

2022 年 6 月 27 日 総務課 畠中政徳

7 月 1 日から 7 月 7 日まで、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に「全国安全週間」が実施されます。

また、6 月 1 日から 6 月 30 日までは準備期間となっています。

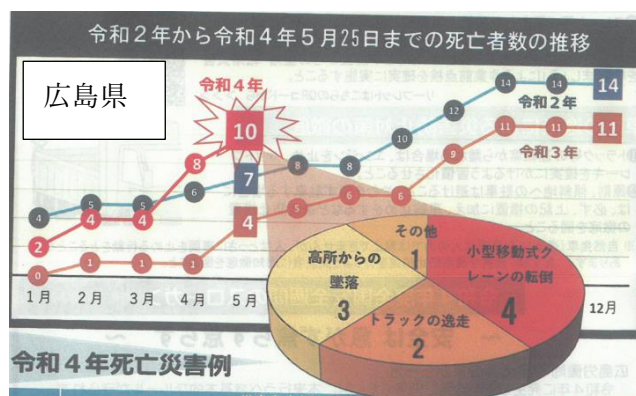
令和 4 年度全国安全週間スローガンは「安全は 急がず 焦らず 怠らず」です。

ということで、今回の月曜かいは総務課が事務局をしている安全衛生委員会の活動について紹介します。

広島県内では今年度 5 月までの集計で例年より多くの死亡災害が発生しており、広島労働局より「死亡災害の防止について（広労基発 0531 第 2 号）」の要請がきています。

柿原工業でも安全衛生委員会の体制を強化しています。メンバーは、以下のとおりで、月一回、委員会開催しています。

委員長（正）柿原専務（総括安全衛生管理者）（副）藤井 G、檜田 K、
製造部長：赤尾 SY、北川 B、各部署委員：池田 KD、松下 KD、高田 KD、西尾 C、小山 GS、
畠中（事務局）（災害リスクが高い部署から選出）
産業医：まつはまクリニック中郷医師



主な議題は、○労働災害及び健康障害のリスクアセスメント、予防処置に関すること
○発生してしまった労働災害の発生状況、原因、防止対策に関すること。
○ヒヤリハットの発生状況、原因、防止対策に関すること。
○他社災害事例等の情報共有。○社内安全衛生ルール of 策定
○作業環境測定、健康診断、ストレスチェックなどの結果評価
○労働基準監督署の対応。○安全衛生パトロール などで。

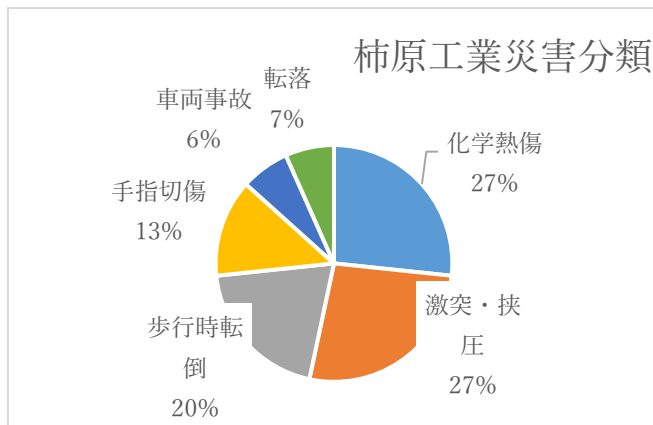
柿原工業の直近 3 年間の業務災害発生状況は以下のとおりです。

期	発生日	概要	部署	分類	場所	休業
59 期	2019 年 5 月 31 日	リーチリフトで足打撲	プラ・技研	車両事故	通路	4 日以上
	2019 年 9 月 11 日	バリ処理で手指切傷	成形	手指切傷	検査	4 日未満
	2019 年 9 月 12 日	成形機取出機で頭部切傷	成形	激突・挟圧	成形	4 日未満

	2019年12月18日	階段を踏み外し靱帯損傷	業務	歩行時転倒	通路	4日未満
	2020年1月5日	Ni 垂鉛めっき液が防護服を通過	金属	化学熱傷	めっき	4日未満
	2020年2月5日	通路を走って足をひねる	業務	歩行時転倒	通路	4日未満
	2020年4月3日	給電バー清掃作業時、液が目に入る	金属	化学熱傷	めっき	4日未満
60期	2020年5月1日	給電バー清掃作業時、めっき液で足火傷	金属	化学熱傷	めっき	4日未満
	2020年12月25日	活性炭作業中、槽に落下	金属	転落	めっき	4日以上
	2021年1月27日	無水クロム酸一斗缶で手指切傷	プラ	手指切傷	めっき	4日未満
61期	2021年6月26日	ポンプを持って階段を降りる時、足を滑らせ左手負傷	プラ	歩行時転倒	めっき	4日未満
	2021年9月6日	成形機取出機で頭部切傷	成形	激突・挟圧	成形	4日未満
	2021年9月17日	アルカリ汚泥除去作業中、液付着で足火傷	金属	化学熱傷	めっき	4日未満
	2021年10月12日	金型を支えるマグネットが外れ指挟圧	金型	激突・挟圧	金型	4日以上
	2022年1月11日	キャリアと乾燥機の間に挟まれる	金属	激突・挟圧	めっき	4日以上

※62期は、まだ業務災害発生しておらず、6/22段階で無災害日数 328 日継続中です。

(目標 700 日まで、あと 372 日。)



柿原工業で多い災害は「化学熱傷」「激突・挟圧」です。

柿原工業の作業の特徴として、

○「薬品を扱う作業が多い」

これに関しては、薬品取扱部署で考えた対策として、保護具（保護メガネ、マスク、保護服、ゴム手袋、ゴム長靴）の着用ルールの明確化と徹底などが

以前より改善していると思われます。

次に「機械の可動域に入っている作業がある」

これに関して、理想は可動域に入らないように囲いをすべきところですが、めっきラインのキャリアや、成形機取出機については、作業の特性上、囲いが困難ですので、運用改善を各部署で推進しています。立入時のルールを決めて、作業指導書や現場標識で不安全行動が起きないように工夫されています。

まとめ

災害は「不安全的な状態」と「不安全的な行動」が重なるとき発生しやすいと言われています。（機械・物の欠陥、点検不備、作業方法の欠陥、保護具服装の不備、管理上の欠陥など）職場で決められたルールを守って、安全な職場になるよう皆で頑張りましょう。